



協体さわじふ

「藤沢市体育協会広報」第4号

発行日 昭和61年11月30日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内

第10回アジア大会について

日本代表選手団団長
藤沢市射撃協会顧問

安 齊 実

アジア大会は、一九五一年インドの首都ニューデリーで第一回大会が開催されて以来アジアのスポーツ振興とアジアの団結、友好を目指して「限りなき前進」をモットーとして四年毎に開催され、今回第十回大会が韓国の首都ソウルで盛大に開催されたが、主催者であるアジアオリンピック評議会（OCA）の加盟国と地域は36ヶ国（今回ソウル市で開催されたOCA総会で台湾が「台平チャイナ」という呼称で加盟が承認されたので37ヶ国となった）で、その人口は約26億人と云われ世界人口は約45億人と云われているので、世界人口の約6割の人口より選ばれた若人によるスポーツ祭典で、世界の大陸大会としては、最大の人口を有する大会であり、その意義は、世界平和に對して大きな影響を与える力を持つ大会と思う。事実、現実に現在戦争しているイラン・イラクの両国からも参加し、開会式にも共に行進し、選手村の生活も同宿、同飯で何のトラブルも起こらず、両国ともフェアなプレイをしてスポーツマンを

發揮したことは、如何にスポーツが人類の平和と幸福に役立つかを如実に示した証左と思う。

日本代表選手団は、日本オリンピック委員会創立以来、オリンピック大会、アジア大会、ユニバーシアード大会の三大国際競技大会を通じて五五一名と云う最大のデレゲーションを組織して、勝利と友好をモットーにアジア大会に参加したが、勿論選手団数が増加したのは、競技種目数が増えたのが最大の原因なのだがとに角五〇〇有余名は、大デレゲーションである。しかも開催地ソウルは、韓国の首都であり、戦後40年を経過し、日韓の理解は徐々に深められていくと云え、一九一〇年、日韓併合の名のもとに、36年間、韓国を植民地化したことは、歴史的事実であり、韓国民の感情としては、日本に對し友日とまではいかなくてもまだまだ心から親日感が普変していかないのが率直な現況と感ぜられるので、競技に勝つことも大事だが、スポーツを通じて友好親善を深め、アジア諸国民の皆さん、或いは韓国民

民の皆さんに、常に礼儀正しく規律よく、明朗に應對して、日本のスポーツマンは感じが良いではないか、若い者もさわやかで親しめるではないかと五五一名の日本選手団がアジアや韓国の皆さんからそう感じて頂ければ競技で金メダルを獲得以上にスポーツによるアジアと韓国との親善友好の外交が一步増進すればと、別に卑屈でもなく、外交辞令でもなく、75才の老団長としては、心中深く念願していたのであるが日本選手団のマナーの良さで友好親善は果し得たと確信している。

競技は国際スポーツを国策（国威発揚、民族心の高揚等）として、それに伴う国民的、政治的、特に莫大な経済的支援が裏付けされている中国、韓国と比べ、日本は一民間スポーツ団体である日本オリンピック委員会策であり、そこにアジア大会があるので、参加するので、国の強化費は、中・韓に比したら極めて僅少だが、金メダルを獲得することが国民の願望である以上、またそれに答えるのがスポーツ界の責務である以上、資金の有無にかかわらず、役員、選手は徒手空拳でベストを尽して果敢なプレイをしたことを団長として心より感謝するものである。

中国金メダル94、韓国93、日本58

で大きく差をつけられたが、これをショック療法と考え、何故勝ったか何故負けたかその原因をスポーツ界あげて研究し、来るべき二年後のソウルオリンピック大会に、たゆまぬ練習と科学的トレーニング、それに出来る限りの募金にはげんで、役員選手の物質的負担の苦勞を減じてやるよう努力する決意なので、市民の皆さんの心よりの御支援をお願いして欄筆します。



社会人・少年野球を合わせると約二〇〇チームが所属している当藤沢市野球協会は、本年度創立五〇周年を迎えました。

創立は昭和十一年四月で、戦争中外来語禁止のなかでの協会運営、戦後の物資のない混乱期をどうやって切り抜け、この協会を今日まで育てて下さったのだろうか、役員をはじめ

め諸先輩さらに藤沢市の野球愛好者の皆様のご苦勞は大変なものだったと想像します。

当協会の加入チームも藤沢市の発展とともに変遷があります。いすゞ自動車、善行団地・藤沢団地の開発等に伴い、いすゞ自動車関係チームの加入、さらに桐原工業団地では、日本IBM・オイレス工業・押切機械(現オシキリ)・日本ギア工業等の加入があり、以前からある東京螺子日本精工などのチームと好ゲームを展開しました。

少年野球は、昨年で創立一〇周年を迎えました。発足当時一七チームでしたが、今は一部・二部・三部を合わせて一〇〇チームに発展しました。

団地が出来ると少年野球チームが増え始め、辻堂地区でチーム名がユニークな『ニーニョスブラボス』が朝日新聞紙上に紹介されました。このチームは、昭和五十三年秋季大会から連続三大大会に優勝しています。その中で捕手の活躍がめざましく、二塁への盗塁のほとんどを阻止していた時期があったのが印象に残っています。今でこそマスコミに紹介されてもめずらしくないが、当時としては大変なことだったので、ご記憶にある方も相当いらっしゃると思

ます。

また、少年部一〇周年事業の一環として、記念行事へ出席された皆様にお配りした冊子『翔け、健やかに』は好評を得ました。その後県下における少年野球部誌の編集のモデルとなったと自負しています。

毎年行っている社会人Aクラスチームの天皇杯、国体の藤沢市代表決定戦、社会人B・Cクラスの高松宮杯代表決定戦、BCクラス選抜大会さらに少年野球の春・秋大会のほか、本年は、六月に藤沢八部野球場において、藤沢市野球フェスティバルを開催しました。この大会は、少



年野球から中学、高校(硬式)野球さらに社会人へと各世代別の決勝戦を同一球場で行うものです。

少年野球は八五チーム、中学野球一八チーム、高校野球二一チーム、社会人は、前年度高松宮杯藤沢市代表決定戦で三回戦以上に勝ち進んだB・Cクラス五八チームの決勝戦でした。中学・高校をはじめ社会人野球の選手の中に、少年野球の出身者がいたことは、協会として驚きであり、同時に健やかに成長してくれた喜びは誠に大きなものでした。

また秋には、本行った高松宮杯藤沢市代表決定戦で残念ながら一回戦で敗退したチームを対象に、頑張ろう 86敗者大会〃を行い参加チームから喜ばれました。

さらに当協会のユニークさは、審判員の育成にあります。『優秀な審判員は強力なチームを育て。審判員もチームに育てられる。』をモットーに審判部への入部希望者に間口を広くして待っています。また少年野球審判の育成に努め、本年第一回卒業生二〇名が活躍しています。十一月より第二回の講習会も始まり、来年四月以降には第二回の卒業生の活躍を期待しています。

五〇年の歴史のある当協会に残念なのは協会の資料が散逸していることです。少年野球では一〇周年記念

事業として資料を集め、一冊の本として発行できましたが、社会人については、手をつけられない状態で、特に協会発足から戦後四〇年代までが皆無です。我々の義務として次の世代へ藤沢のアマチュア野球の歴史と発展を伝えたいと思っています。

資料をお持ちの方、当時の話を聞かせていただける方は、協会事務局（藤沢微章 二四―二二三三）までお知らせいただきたいと思います。

県 総 体

残念ながら第6位

神奈川県内26郡市が集い、第37回神奈川県総合体育大会が、県下各会場で開催され、9月28日秋季大会本大会で幕を閉じました。

9月12日には、秋季大会結団式が行われ、神部教育長らから、昨年度成績（総合第4位）を上回るよう激励を受け、代表選手一同決意も新たに大会に臨みました。

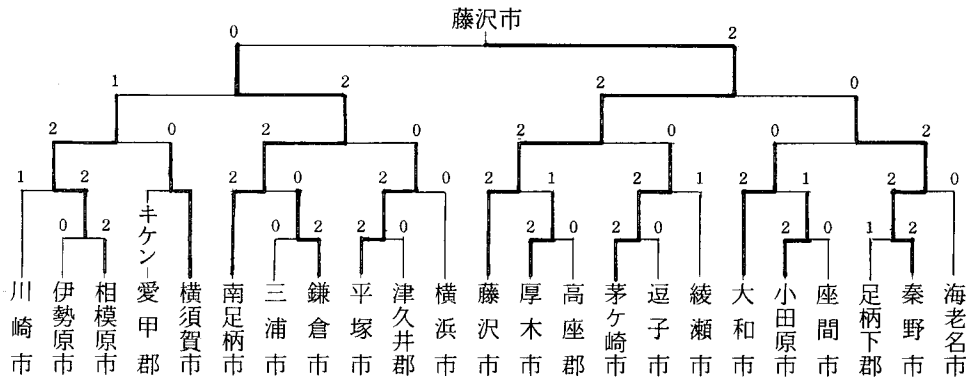
しかしながら結果は総合第6位入賞に留まり、昨年を上回ることではできませんでした。その中においてバレーボール競技の活躍はめざましいものがありました。

来年度も各協会・選手のご努力とご協力で上位入賞を目指します。

成 績 表

郡市名	冬季		夏 季			秋 季										得点合計	順位
	スキ	ソフトボール	軟式庭球	水 泳	陸 上	バレーボール	卓 球	剣 道	軟式野球	バスケットボール	柔 道	弓 道	サッカー	バドミントン	射 撃		
横浜市	25	20.5	26	25	26	20	20.5	26	6	20.5	26	14.5	15	20.5	26	317.5	1
小田原市	17	26	14.5	23	21	16	20.5	25	23.5	20.5	20.5	14.5	20.5	23	14	299.5	2
川崎市	22	14.5	25	26	14	10.5	24	20.5	6	25.5	23	25	23.5	20.5	18	298	3
横須賀市	13	20.5	20.5	21	25	21.5	26	14.5	6	20.5	25	14.5	20.5	25	23	296.5	4
平塚市	21	6.5	14.5	22	22	19	23	14.5	14.5	25.5	20.5	14.5	20.5	24	24	286	5
藤沢市	20	14.5	24	18	23	25.5	14.5	24	14.5	14.5	24	14.5	15	14.5	22	282.5	6
相模原市	26	6.5	14.5	24	24	25.5	14.5	20.5	14.5	14.5	20.5	20.5	8	26	19	278.5	7
大和市	18	23	20.5	19.5	16.5	23	20.5	20.5	6	23.5	14	14.5	6	14.5	11	253	8
茅ヶ崎市	16	6.5	23	15	18	21.5	20.5	8	14.5	14.5	16.5	24	23.5	14.5	12	248	9
南足柄市	15	24	14.5	12	9	24	6	20.5	14.5	—	16.5	26	25.5	—	9	216.5	10

男子バレー成績表



その他の成績

種別	対戦相手	勝	敗
女子バレーボール (三位)	一回戦 対 津久井郡	2	1
	二回戦 対 小田原市	2	1
	三回戦 対 中 郡	2	1
	準決勝 対 相模原市	1	2
軟式庭球 (三位)	一回戦 対 シード	4	1
	二回戦 対 小田原市	3	1
	三回戦 対 津久井郡	3	1
	三位決定戦 対 茅ヶ崎市	3	2
剣 道 (三位)	一回戦 対 逗子市	4	1
	二回戦 対 秦野市	3	1
	三回戦 対 川崎市	4	1
柔 道 (三位)	一回戦 対 ブロック優勝	5	0
	三位決定戦 対 川崎市	5	0

中山二郎会長

文部大臣

体育功労賞

受賞！！

この度、藤沢市体育協会、中山二郎会長が、戦後以来の永年にわたり体育振興に尽力された功績により、文部大臣、体育功労賞を受賞されました。協会員一同心より慶こんであります。

中山会長は、本業は医師であり、お忙しいお身体ですが、本協会会長であると共に、藤沢市卓球協会名誉会長、神奈川県卓球協会副会長も兼務し、各方面に活躍されております。昨年、組織と活動内容を一新し、発展的解消をとげ、新生体育協会となつたばかりの本協会にとっては正に朗報であります。

今後とも充分、御健康に留意されて藤沢市の、神奈川県のスポートの普及、振興に御力を注いで戴き、我々協会員一同も、輝しい会長の受賞に恥じめよう、尚一層、組織の充実に図り、会の発展、活動に努力をする所存で居りますので皆様の暖かい御支援、御協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

全国青年大会 女子バレーボール

堂々全国優勝！！

去る十一月七〜九日の三日間、駒

沢屋内球技場他で第三五回全国青年大会が開催され、バレーボール競技

女子の部に出場した藤沢市チームが、全国の並いる強豪を連覇し、全国四七都道府県の頂点に立ちました。

この大会は、全国青年団協議会等が主催し、全国の勤労青年がスポーツ・芸能文化を通して相互の友好親

善と健康で明るい生活・郷土社会の建設に寄与することを目的に開催されている若人のスポーツと文化の祭典です。

藤沢市チームは、市バレーボール協会が市民総合体育大会等の成績を参考に選手を選抜した混成チームで、九月二十八日に行われた第三七回神奈川県総合体育大会青年の部に出場し、四試合をすべてストレート勝ちし全国大会に駒を進めました。全国大会では、一回戦の山口県代表を2-10で下したのを始め、決勝の福岡県戦まで六試合をすべてストレートで下す圧倒的な力で優勝の栄誉を勝ち取りました。

このことは、全国に藤沢のバレーボールを轟かせることになりました。

一回戦

藤沢市 2-10 山口県代表

二回戦

藤沢市 2-10 兵庫県代表

三回戦

藤沢市 2-10 岐阜県代表

準々決勝

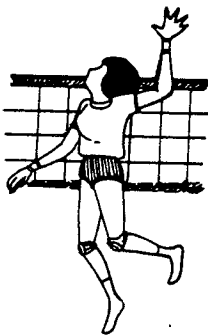
藤沢市 2-10 宮崎県代表

準決勝

藤沢市 2 21-17
21-8 0 茨城県代表

決勝

藤沢市 2 21-19
20-19 0 福岡県代表



スポーツ人の集い

お知らせ

本年三月、体育協会初の試みとして、本市スポーツ人が一堂に会しました第一回「スポーツ人の集い」は誠に意義深いものであります。

第二回は、62年1月24日(土)新春に予定しております。詳しくは後日お知らせを致しますので、前回にも増して、関係各位の深い御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

賛助会員募集のお願い

昨年度は本体協賛助会員制度の趣旨をご理解いただき、多くの皆様方にご入会いただき誠にありがとうございます。昭和61年度も引き続き入会手続きをいたしております。一人でも多くの方々にご賛同いただき、昨年度同様多くの皆様が入会くださいますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、藤沢市遠藤三二七三 秋葉台文化体育館内 藤沢市体育協会881-1111までご照会ください。